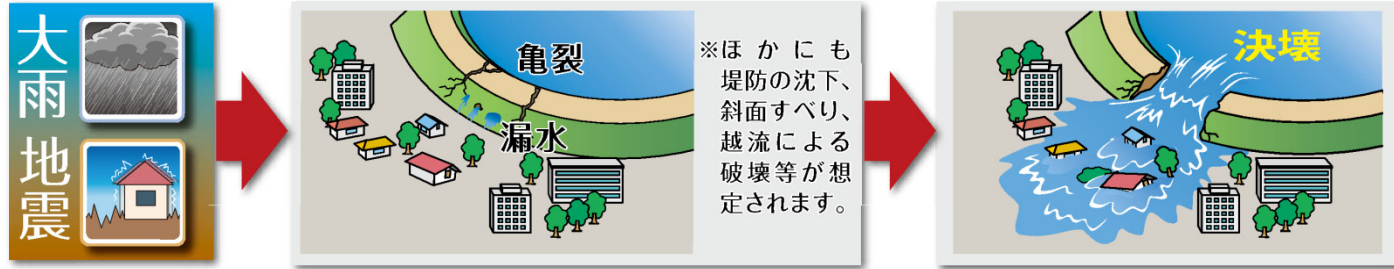


## □ ため池の決壊要因と災害事例（大雨のときや地震のあとは注意しましょう。）

ため池の堤防は日頃から安全管理を行っていますが、施設の耐用能力を超える大雨や地震の発生によって損傷を受ける場合があります。大雨のときや地震のあとは、ため池の決壊に注意が必要です。



### 大雨

広島県

### 災害事例

### 地震

福島県

平成30年7月豪雨では、西日本の2府4県で32か所のため池が決壊しました。特に広島県では、ため池上部のグラウンド崩壊による土砂流入によってため池が決壊し、死者1名、負傷者4名の被害が出ました。

平成23年3月11日の東日本大震災では、地震により、福島県下では約750か所のため池が被災しました。また、同県須賀川市で藤沼湖が決壊し、死者・行方不明者8名の犠牲者が出る被害となりました。

## □ 防災情報の収集先（避難に備え早めの情報収集をしましょう。）

大雨や地震の時は、テレビ、インターネットなどで最新の情報を確認し、早めの避難に備えましょう。また、和泉市では迅速に防災などの行政情報を受け取れる電子メール配信サービス「いずみメール」を提供していますので、携帯電話での利用登録をしておきましょう。

名称	情報の種類	ウェブサイトアドレス
おおさか防災ネット	府内の気象情報・地震情報・災害情報など	<a href="http://www.osaka-bousai.net/pref/">http://www.osaka-bousai.net/pref/</a> <a href="http://www.osaka-bousai.net/mobile/pref/">http://www.osaka-bousai.net/mobile/pref/</a> (携帯電話用)
大阪管区気象台ホームページ	府内の気象情報や地震情報など	<a href="http://www.jma-net.go.jp/osaka/">http://www.jma-net.go.jp/osaka/</a>
気象庁ホームページ	全国の気象情報や地震情報など	<a href="http://www.jma.go.jp/jma/index.html">http://www.jma.go.jp/jma/index.html</a>

### いずみメールの登録方法

izumimail@safe.city.izumi.osaka.jp

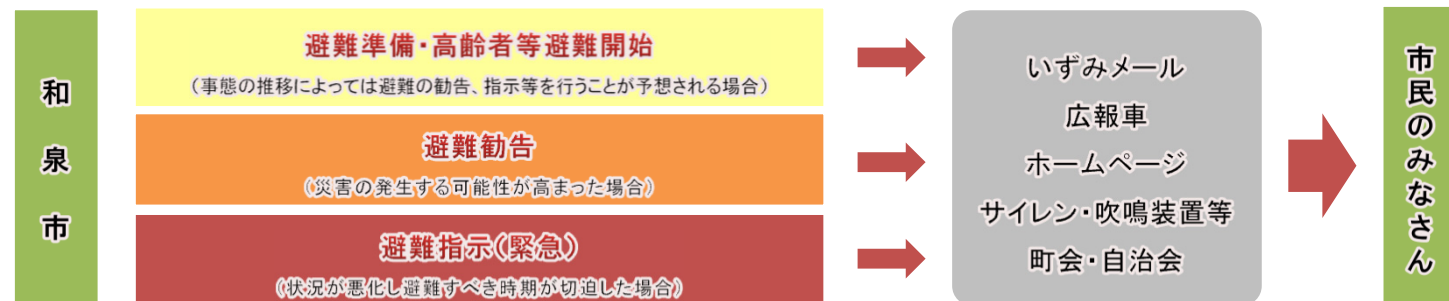
- ① 右のメールアドレス（QRコード利用可）より空メール（件名・本文不要）を送信してください。
- ② 返信メールを確認し、本登録を行ってください。
- ③ 本登録では、氏名の入力と希望する6つのカテゴリーを選択し送信をしてください。
- ④ 登録完了のメールが届いて本登録完了です。



お知らせ情報  
防災・防犯情報  
教育・文化情報  
高齢者支援情報  
建物・山林火災情報  
子育て情報

## □ 和泉市から呼びかける避難情報（危険が迫った場合は早めに避難しましょう。）

避難が必要な事態の時には、市民のみなさんに避難情報を伝達します。避難勧告や避難指示（緊急）が発令された場合や、身の危険を感じた場合には早めに避難をしましょう。



【緊急連絡先】 警察：110番  
消防：119番

【お問い合わせ先】 和泉市役所 環境産業部産業振興室 農林担当  
TEL 0725-99-8125 (直通)  
TEL 0725-41-1551 (代表)

保存版

# 和泉市ため池ハザードマップ

（伯谷上池、仏並大池）

作成：令和3年3月

この「ため池ハザードマップ」は、伯谷上池、仏並大池が決壊した場合に想定される浸水区域や水深、および避難に役立つ情報を取りまとめたものです。ため池が決壊するおそれのある場合または決壊した場合に、迅速かつ安全に避難するために役立ててください。

- ため池は、農業用水の確保を目的として古くより築造されてきました。現在ではその豊富な貯水量と自然環境によって、利水はもとより動植物の生息・生育環境として貴重な役割も担っています。
- しかし全国の事例では、施設の耐用能力を超える大雨や大規模な地震によって、ため池が決壊し大災害が発生していることから、万が一ため池が決壊した場合の避難について考えておくことが大切です。
- 伯谷上池、仏並大池は日頃より水位を下げる等、自然災害に対する対策を講じておりますが、万が一ため池が決壊した場合の避難について考えておくことが大切です。



伯谷上池の諸元  
堤長：25m  
堤高：4.9m  
貯水量：2,000m³

仏並大池の諸元  
堤長：61m  
堤高：8.4m  
貯水量：60,000m³

## □ ため池ハザードマップの活用方法（急な事態へ備えましょう。）

### 【1】 想定される浸水区域や深さなどをチェックしましょう。

- ・自分や家族などの居場所と、浸水深やはん濫水の到達時間を確認しましょう。
- ・緊急時にも地図を確認できるように、居場所には印をつけておきましょう。



### 【4】 日頃から家族や地域で話し合いましょう。

- ・災害時に協力し合えるよう、家族や地域で役割などを話し合いましょう。
- ・避難の際に支援が必要な要配慮者への情報伝達や補助内容を決めておきましょう。



### 【2】 避難場所を決めておきましょう。

- ・浸水深やはん濫水の到達時間より、どこへ避難するかを決めておきましょう。
- ・避難時間がなかったり避難途中で浸水した場合に緊急避難できる場所も探しておきましょう。



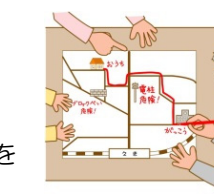
### 【5】 防災情報の入手先を確認しておきましょう。

- ・ため池の堤防が被災すると、短時間で決壊に至る可能性がありますので、日頃から防災情報がどこで入手できるかを確認しておきましょう。



### 【3】 避難場所までの避難経路を考えましょう。

- ・避難場所まで安全に避難できる経路を考えましょう。
- ・避難場所まで実際に歩いて、移動時間を確認しておきましょう。



### 【6】 市の公表している他のハザードマップもご覧ください。

- ・和泉市では、様々な災害時の避難に役立つよう、各種ハザードマップを作成しています。このマップと併せて活用し、急な事態へ備えましょう。

